

Quattro Stagioni 第1回公演

Quattro Stagioni × 江頭摩耶

無伴奏ヴァイオリンに挑む

—四人の作曲家による新作の饗宴

Program

小林 聡

《Texture》 for Violin

小櫻 秀樹

《Luigi Boccherini bin ich!》

高山 葉子

《little by little》 for Violin

武藤 綺音

新作タイトル未定

ほか

2017

2.10

Fri

18:15開場 18:45開演

カワイ名古屋 コンサートサロンドブルー

◆チケット (全席自由)

一般 前売¥2,000 当日¥2,500

学生 前売¥1,500 当日¥2,000

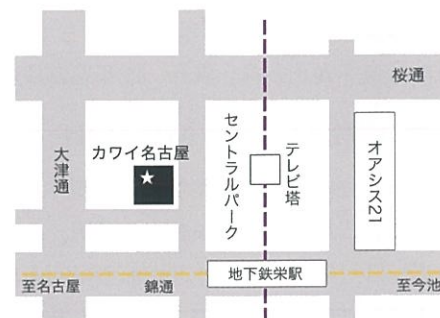
◆アクセス

地下鉄名城線・東山線

「栄」駅3番出口より徒歩1分

公演内容お問い合わせ: quattrostagioni2017@gmail.com

チケットお問い合わせ: カワイ名古屋 TEL 052-962-3939



◆ ソリストプロフィール ◆



江頭 摩耶 Maya EGASHIRA

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て愛知県立芸術大学音楽学部を卒業。桑原賞、中村桃子賞を受賞。中部読売新人コンサートに出演。

2008年にフィンランド国立シベリウスアカデミーを最優秀の成績で卒業。在学中にはシベリウスアカデミーオーケストラのコンサートマスターに繰り返し抜擢され、エサベッカ・サロネン、レイフ・セゲルスタムらと共演。

これまでに、クオピオ市交響楽団首席奏者、ラハティ市交響楽団第二ヴァイオリン奏者、シベリウスアカデミー非常勤講師（以上フィンランド）、ポルト・カサダムジカ交響楽団（ポルトガル）第二コンサートマスター、愛知県立芸術大学非常勤講師などを務める。ゲストコンサートマスターとしてヨーエンスー市交響楽団、オウル市交響楽団（以上フィンランド）、ノールランドオペラ（スウェーデン）などに客演。

2014年には名古屋でソロリサイトをを行い、「音楽の友」にて高評を得る。ヴィオラ奏者としても、Odysseus弦楽四重奏団、現代音楽アンサンブル「音楽クラコ座」などに参加し、精力的に活動している。

2015年から、モザンビークのマプト国際音楽祭、青少年オーケストラ設立プロジェクトに招聘され、ソロ、室内楽、指導に携わる。

◆ Quattro Stagioni ◆

四人の作曲家たち

小林 聡 Akira KOBAYASHI

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第1回カルロス・チャヴェス国際作曲コンクール第1位受賞、日本交響楽振興財団第10回作曲賞受賞ほか内外にて受賞歴多数。これまでに、文部省在外研究員としてフィンランド国立シベリウス・アカデミー、ゲスト・コンポーザーとしてパトラー大学（アメリカ合衆国インディアナポリス）で研究活動を行う。現在、愛知県立芸術大学教授、名古屋音楽大学非常勤講師、岐阜県立看護大学非常勤講師。

小櫻 秀樹 Hideki KOZAKURA

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。文化庁在外研修員としてニューヨークに滞在。その後、渡瑞しストックホルム王立音楽大学大学院ディプロマ取得。

スウェーデンと深い関わりを持ち、日本・ドイツを拠点として音楽活動を行う。

野村学芸財団奨学金、日本交響財団振興賞、名古屋文化振興賞、第1回武満作曲賞2位（1位なし）、文化庁舞台芸術奨励賞、ベルリン文化科学賞などを受賞。

オペレッタ、テクノ音楽、民謡、子守唄から多大な影響を受け「作曲」活動を展開。伴奏ピアニストとしても活動。

名古屋音楽大学准教授、愛知県立芸術大学講師。

高山 葉子 Yoko TAKAYAMA

愛知県立芸術大学音楽学部音楽科作曲専攻卒業、同大学院修士課程及び博士後期課程修了。2015年3月、論文「マウリツィオ・カーゲル《Match-für drei Spieler》における知覚的統合」により、博士号取得。音楽博士（Doctor of Music）。

“音楽に内在する身体性”をテーマに精力的に創作・研究活動を続けている。これまでに、岡本加奈子、小林聡、岡坂慶紀、久留智之の各氏に師事。2010年度財団法人北野生涯教育振興会音楽奨学生。2016年度中川運河助成ARToC10助成採択者。現代音楽舞台研究会代表。日本音楽学会正会員。現在、愛知県立芸術大学および名古屋芸術大学非常勤講師。

武藤 綺音 Ayane MUTOH

愛知県立芸術大学音楽学部音楽科作曲専攻作曲コース首席卒業（桑原賞受賞）。同大学院博士前期課程を修了後、現在、博士後期課程に在学中。これまでに作曲を小井洋明、小林聡、ユハ・T・コスキネンの各氏に師事。2015年、パトラー大学（アメリカ合衆国・インディアナポリス）にて行われたJapan New Music Weekにおいて、ゲスト・コンポーザーとして作品発表とプレゼンテーションを行う。

作曲活動の中で、文学テキストと音楽の関係に関心を持ち、現在は幸若舞を中心に、日本の語り物芸能に関する研究を行っている。平成28年度公益財団法人日東学術振興財団研究助成者。